

# 令和2年度 鬼怒中学校 学校評価書

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### （1）基本目標

確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ。

### （2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

○気力あふれる生徒 ○創造性を伸ばす生徒 ○心の豊かな生徒 ○進んで仕事をする生徒

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

### （1）目指す学校像

- 活力に満ちた明るく，楽しい学校
- 互いを認め合い，思いやりのある学校
- 保護者・地域から信頼される学校

### （2）目指す教師像

- 高い指導力と愛情をもって，生徒と向き合える教職員
- 生徒のよさを認め，伸ばす教職員
- 協調性に富み，責任感のある教職員

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

生徒を中心とした活力に満ちた明るく，楽しい学校づくりを目指し，全教職員が和と協力，熱意，人間尊重の精神を基盤に『生きる力』をはぐくむ教育に取り組むとともに，地域と連携・協力し特色ある学校経営を推進する。

- （1）確かな学力の育成・・・新学習指導要領の求める主体的・対話的で，深い学びとなるように授業の工夫改善に努める。また，自ら学習する態度の育成を図るため家庭学習の適切なやり方及び学習時間の確保について指導していく。
- （2）豊かな心の育成・・・生徒が活躍できる場の設定と異年齢集団活動及びボランティア活動の充実を図り，心豊かな生徒の育成に努める。
- （3）安全指導の徹底と健康体力の増進・・・登下校の安全の徹底を図るとともに食育及び心身の健康に関する指導の充実を図る。
- （4）特別支援教育の充実・・・全教職員の共通理解のもと，配慮が必要な生徒に対して組織体制を確立し，連携協力して指導する。
- （5）小中一貫教育の推進・・・地域学校園の部会組織を見直すとともに，小中が抱える共通の課題を明確化し連携して解決を図る。また，児童・生徒の交流する機会を検討し実践していく。
- （6）家庭・地域との連携強化・・・学校教育への理解を深めるため，家庭や地域に情報を積極的に発信するとともに，生徒の地域行事への参加を促す。
- （7）教職員の健康安全管理と資質の向上・・・校務の効率化を意識し，組織的な対応を図る。また各自が課題を意識し，教育のプロとしての自負と責任をもちコンプライアンスを遵守する。さらには，学びあいの精神で授業力の向上を図る。

### 【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

～学習や学校行事等を通して，学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成～

4 教育課程編成の方針

- (1) 地域や施設設備，教員構成及び生徒の実態，発達段階や特性等を十分に配慮し編成する。
- (2) 基本的な「学び方」の習慣を身に付けさせるため，教科における学習指導はもとより，道徳や特別活動，総合的な学習の時間等で意図的・計画的に指導を行えるように編成する。
- (3) 好ましい人間関係の醸成，基本的なモラルや社会生活上のルールの習得，他者と協力して，よりよい生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育成するため，道徳や特別活動を効果的に展開できるように編成する。
- (4) 他者に対する思いやりの心や，不正を絶対に許さないという心，さらには良いことを進んで行おうとする意欲を，全教育課程で育て，生徒自身の心に「いじめに対する抑止力」を付けさせる。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【 学 校 運 営 】・創意と調和のある教育課程の編成・実施するとともに学校課題の解決に努め，教職員が一致団結しての学年・学級経営にあたり，信頼される学校づくりを推進する。特に今年度は，教職員を組織化し「歯と口の健康指導」の研究への取組を通して，資質能力向上に努める。
- 【 学 習 指 導 】○主体的に学ぶ生徒の育成に務め確実に基礎・基本的内容の定着に努める。また，日頃から積極的に対話的活動を展開し，深い学びに繋げる。
- 【 児 童 生 徒 指 導 】○日常生活の中で優しい心を培うとともに集団生活を通して互いを認め合い，他者を思いやる態度の育成を図る。
- 【健康(体力・保健・食・安全)】 ○進んで運動に親しむ態度の育成と，安全で心身が健康な生活を送る態度の育成を図る。

6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の	A1 生徒は，進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 85%以上	① 毎時間「ねらいを示す」「振り返りを行う」を徹底して行い，知識の定着を図る。 ② 自主学習ノートを活用し，家庭学習の定着を図る。 ③ 深い学びにつながるよう、言語活動の充実を図る。	A	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 88.1%と数値指標は上回っている。教職員の肯定的回答は 75.0%と数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①「ねらいを示す」「振り返りを行う」を授業で徹底して行い，知識の定着を図る。 ②家庭学習ノートを活用し，家庭学習の定着を図る。 ③深い学びにつながるよう、言語活動（発言力・発表力・理解する力）の充実を図る。 ④生徒が主体的に学習に取り組むような課題の設定や「学び合う活動」を授業に取り入れ生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。



目 指 す 生 徒 の 姿	<p>A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 保健体育の授業や新体力テスト等により、生徒が自身の体力の現状を把握できるようにする。</p> <p>② 登下校時の交通安全指導、緊急時の避難訓練、学校生活での事故防止の指導等において、生徒が自分の判断で行動できるように指導する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 77.5%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①感染症予防対策の新しい生活習慣を徹底させ、バランスの良い食事や適度な睡眠時間を確保し、自身の健康の向上の意識を高める。</p> <p>②マスク着用・手洗い・うがいの徹底のために保健だよりや掲示物、委員会との連携を図る。</p> <p>③「交通安全教室」「薬物乱用防止教室」「避難訓練」を実施するとともに、教科横断的な視点を持って他の教科指導と関連づけて指導する。</p>
	<p>A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① 「職業について学ぶ」(1年)、「社会体験学習」(2年)、「自己の生き方について考える」(3年)を通して、自己のキャリア形成に必要な能力や態度の育成を図る。</p> <p>② 奉仕活動、あいさつ運動、ボランティア活動等に積極的に参加し、社会の一員である自覚を促すとともに、社会貢献の態度の育成を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 70.0%とおおむね達成できている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①「職業について学ぶ」(1年)、「社会体験学習」(2年)、「自己の生き方について考える」(3年)を通して、自己のキャリア形成に必要な能力や態度の育成を図る。</p> <p>②あいさつ運動、ボランティア活動等に積極的に参加し、社会の一員である自覚を促すとともに、社会貢献の態度と育成を図る。</p>
	<p>A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 70%以上 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 英語の授業で、ウォームアップの際に既習の英語を用いた生徒同士のコミュニケーションを行う。</p> <p>② 英語の授業の中で、英語のみを使ったやりとりの活動を取り入れる。</p> <p>③ 新出単語や表現の学習の際に、どんな場面で使われるものなのか具体的にしめす。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が 85.6%と数値指標は上回っている。教職員の肯定的回答は 67.5%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①英語の授業で、ウォームアップの際に既習の英語を用いた生徒同士のコミュニケーションを行う。</p> <p>②英語の授業の中で、英語のみを使ったやりとりの活動を取り入れる。</p> <p>③新出単語や表現の学習の際に、英語を発話する機会を作る。</p>
	<p>A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 総合的な学習の時間において、地域の産業や農産物、文化財等を調べる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が 78.3%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①宇都宮の歴史や風土・産業・文化財などについて、社会科や総合的な学習の時間(宇都宮学)において調査・研究を行い、宇都宮の良さに気づき、その良さを共有する。</p> <p>②「鬼怒中学校地域協議会」との連携を図り、学区内(御幸地区・御幸ヶ原地区・平石地区)の歴史やよさについて学ぶ機会を設ける。</p>

目 指	<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① 調べ学習や発表活動等の場面で、ICT機器の利用を推進する。</p> <p>② 調べ学習に対応できるよう図書を整理・購入する。</p> <p>③ 教職員のICT活用研修を行う。</p>	A	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が65.0%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①調べ学習や発表する場面等で、積極的にICT機器を活用していく。 ②教科・領域ごとの学校図書館活用計画の下、学習に役立つ図書を生徒・教員に積極的に紹介する。 ③生徒一人1台のパソコンを授業で使えるよう教職員のICT活用研修を行う。</p>
	<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 教職員・生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 体育祭で高砂荘の高齢者を招き、一緒に活動する場面を設定する。</p> <p>② 福祉委員会で高砂荘の行事に参加する。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が88.7%と数値指標は上回っている。教職員の肯定的回答は75.0%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①行事のCDを作成するなどして高砂荘のお年寄りに見て頂き、生徒に高齢者に対する啓発を意識させる。 ②地区内の行事へ積極的な参加を促し、高齢者との交流を深めさせる。</p>
	<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① 教科や特別活動、総合的な学習の時間の学習を通して、「持続可能な社会」から「持続可能な開発目標(SDGs)」へと発展させ、知識を習得させる。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が67.5%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①教科横断的授業の実践、総合的な学習の時間、委員会活動などの教育活動に「持続可能な開発目標(SDGs)」を関連づけ、「持続可能な社会」への関心を高める。 ②環境問題・自然災害・事故等を取りあげ、身の回りに起こっている出来事に関心を持たせる。</p>
	<p>B1 生徒は、登下校の際、交通ルールやマナーを守っている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 交通マナーやルールについて具体的な例をあげたり、実技を取り入れたりして、生徒が主体的に判断できるような指導を行う。</p> <p>② PTAによる「愛の一声運動」の実施。</p> <p>③ 危険箇所については、通学路の整備・見直しを実施し、保護者・地域からも行政に働きかけてもらう。</p>	A	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答が72.4%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①1学期は新入生の交通事故や自損のけがが多く、大きい自転車に不慣れな生徒が多いと考えられる。そのため、新入生を対象とした、自転車の乗り方や交通マナーについて学ぶ交通安全教室を4月頃に企画する。 ②危険箇所については、通学路の整備・見直しを実施し、保護者・地域からも行政に働きかけてもらう。 ③PTAによる「愛の一声運動」の実施。</p>
	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 教育相談部会において情報交換をしっかりと行い、適切な支援を行う。</p> <p>② 必要な生徒については個別の支援計画を作成し具体的な支援について情報の共有を図る。</p> <p>③ 担任・SC・MS・教育相談担当が連携し、保護者との面接などを積極的に行う。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は97.5%と数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①校内支援委員会において、計画的に生徒を見ていく。また、支援が必要な生徒については個別の支援計画を作成し具体的な支援を共有し実践していく。 ②教育相談の研修を通してカウンセリング技術習得に努める。</p>

す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① 学校教育活動全般において人権教育を推進する。</p> <p>② いじめゼロ強調月間において、生徒が主体となる取組を実施する。</p> <p>③ いじめ防止の取組について、各種の便り等を用いて、家庭や地域に情報を発信する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 96.8%と数値指標を上回っている。保護者の肯定的回答も 72.5%と数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①学校全体で年間を通していじめは許されないという強い気持ちを育てていく。 ②いじめゼロ集会、いじめアンケート、教育相談、道徳の授業の場面でも効果的に指導していく。 ③学校の取組を積極的に保護者や地域へ情報発信する。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学級が安心できる場になるよう、それぞれの個性や特性を認め合う集団作りを行う。</p> <p>② 挨拶や励まし等のコミュニケーションをとったり、スタンダードダイアリーを活用したりすることで、生徒の少しの変化を見逃さないように心がける。</p> <p>③ 家庭との連携を密にとり、初期段階で迅速な対応をとることで、早期解決を目指す。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 97.5%と数値指標を上回っている。保護者の肯定的回答も 84.8%と数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①日常の変化を見逃さず、家庭との連絡を密にし、問題発生を防ぐとともに、初期対応が迅速に行える体制を整える。 ②不登校対策の取組として「まなびポケット」の活用を検討する。</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 該当生徒保護者と面談し、日本語ボランティアなどの関係機関と連携を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 97.5%と数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①教職員で日本語指導の支援が必要な生徒を面談等で適切に見極め、保護者や関係機関と連携して個人に合った支援を行う。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 一人一人を大切にしている教育活動を実践し、生徒の所属感や自己有用感を育成する。</p> <p>② 学校行事等において生徒会の活動を積極的に取り入れる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 84.2%と数値指標をおおむね達成できている。</p> <p>【次年度の方針】 ①生徒の自主性を尊重しながら、企画運営を任せる活動を設定する。 ②生徒の実態に即した学校行事の位置づけを行い、生徒が自発的に活動できるような工夫を行う。</p>
目 指 す 学 校 の 姿	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 一斉指導の中の個別指導を念頭に、設問や机間指導の際に、個に応じた配慮を行う。</p> <p>② 校内研修として、一人一授業を実施し、授業力の向上を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 89.28%と数値指標をおおむね達成できている。</p> <p>【次年度の方針】 ①一斉指導の中の個別指導を念頭に、設問や机間指導の際に、個に応じた配慮を行う。 ②一人一授業を全職員で実施し、参観レポートを作成するなど校内で相互研修を行うことにより、個々の授業力の向上を図る。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教職員の経験年数や専門性を考慮して校務分掌を割り振る。</p> <p>② 学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、学校内の環境整備の充実を図る。</p> <p>③ SCを活用し、教育相談及び生徒指導上の問題解決のためにケース会議時のコンサルテーションを行ってもらう。</p> <p>④ 学校図書館司書業務との連携を意識した図書館での学習を推進する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 87.5%と数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①校務運営規程をもとに職務・業務内容について理解を深めるとともに、教職員が相互に連携して業務に当たる。 ②校内だけでなく関係機関と協働して生徒の健全育成に努める</p>
	<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ミラタイム出退勤管理の利用を徹底する。</p> <p>② 部活動外部指導員等を有効活用することで、教員の業務削減を行う。</p> <p>③ リフレッシュデーを月 1 回設定する。</p> <p>④ 効率の良い会議を目指し、会議の重複をなくし、会議の時間短縮を目指す。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 65.0%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①各自の勤務時間を意識させるとともに、会議の分散・会議時間の短縮を心掛ける。 ②普段から OJT を活用し仕事の効率化を図る。</p>
	<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域学校園として小学校と連携を図り、9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、生徒指導を実践する。</p> <p>② 学力向上、不登校対策、特別支援教育の充実に向けた連携、協働を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 81.9%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①地域学校園として小学校と連携を図り、9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、生徒指導の計画を修正・改善する。 ②学力向上、不登校対策、特別支援教育の充実に向けた連携、協働を図る。</p>
	<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域コーディネーターと連携し、魅力ある学校づくり地域協議会の有効活用を推進する。</p> <p>② 新4号国道のフラワーロードの整備を行う。</p> <p>③ 高齢者施設や地区内のお祭りなどへのボランティア活動を行う。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 83.0%と数値指標を下回っている。地域住民の肯定的回答は、80.0%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①地域コーディネーターと連携し、魅力ある学校づくり地域協議会の有効活用を推進する ②地域に目を向けた教育活動を通して、生徒の郷土愛を育てる。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域団体と地域連携教員及びコーディネーター、PTA との連携を深め、ともに連携した特色ある学校づくりが定着するよう努めていく。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 83.0%と数値指標を下回っている。地域住民の肯定的回答は、80.0%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①地域コーディネーターと連携し宮っ子チャレンジウィーク、社会人先生に聞く、幼稚園実習等で、地域の教育力を活用する。</p>	

	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 地域住民の肯定的回答 95%以上</p>	<p>② 安全点検を確実にを行い、危険箇所等の把握に努める。</p> <p>③ 学校施設利用者等から、施設環境情報の収集に努める。</p> <p>③ 学校業務嘱託員や機動班との連携を行い、学校内の環境整備を充実させる</p>	B	<p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答は、94.7%と数値指標をおおむね達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ①安全点検や施設利用者から環境改善情報を収集し、学校業務嘱託員や機動班と連携を図り、速やかな処置・対応を行う。</p>
	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① ICT機器の適切な場所での保管を徹底する。</p> <p>② 図書選定委員会を適切に実施し、調べ学習等に必要な図書の整備を推進する。</p>	A	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が65.0%と数値指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ①GIGA スクール構想で届くパソコンを授業で使えるよう準備する。 ②各教科・領域の中で、図書の活用によって学習効果が向上する単元を調べ、適切な図書資料の購入に努める。場合によっては公立図書館と連携し豊富な図書資料を準備する。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B2 生徒は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てる。</p> <p>② 授業に集中できる環境を整えるために、教室の学習環境の設備に努める。</p> <p>③ 学業指導について教職員での共通理解と共通指導の充実を図る。</p>	A	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は75.5%と数値指標をおおむね達成できている。</p> <p>【次年度の方針】 ①話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てる。また、どのような生徒も落ち着いて授業ができるような教室の学習環境を整える。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・27の質問項目で11項目が指標を上回った。</li> <li>・質問項目を生活面、学習面、健康安全面と大きく分類し数値を検討してみると、生活面に関するものは、ほとんどの項目で生徒の肯定的回答が指標を上回り、また市全体の平均値を上回っている。このことから、学校の決まりやマナーを守り落ち着いた生活を行い、充実した学校生活を送っていると考えられる。</li> <li>・学習面に関するものでは、生徒、教職員の肯定的回答が指標を下回っている項目がある。また、市全体の平均値より下回っている。本校課題である学力向上に向けて、教職員のわかる授業への取り組みの向上、家庭学習の習慣の定着、家庭での学習環境の改善など、さらなる充実を図れるような研究、授業の工夫、家庭への協力の呼びかけ等行う必要がある。</li> <li>・健康安全面に関するものでは、生徒は肯定的回答が指標を上回っているが、教職員、保護者、地域住民では指標が下回っている。これは、登下校中の自転車を運転する生徒と自動車等を運転する側の安全に対する意識の差が出ていると思われる。交通法規の遵守を改めて生徒に理解できるよう指導し、交通マナーの遵守や心のマナーの向上に努めていく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策として、学校行事や保護者会や授業参観など中止や縮小を行った。保護者から「今年度は学校に行く機会が少なかったため、生徒の様子がよく分からない」との意見が多く聞かれた。この対策として本校HPの内容の充実や、各担任や学年主任等による各種たよりの充実を図った。今後は、コロナ対策もしつつ学校の様子を保護者に理解できるよう情報発信の方法や回数などを検討していく。</li> </ul> <p>○小中一貫教育・地域学校園に関する項目については、教職員、保護者、地域住民の数値は指標を上回っている。鬼怒中学校園としての取組に対して、理解をいただいていると思われる。その反面、生徒の肯定的回答が低いことは、小中一貫教育の取り組みが生徒に還元されていない内容があると思われる。学校園での共通の課題である学力の向上に向けて、生徒の実態に合わせて効果的な取り組みができるよう工夫・研究を継続していく。</p>
---

## 7 学校関係者評価

- ・今年度は体育祭や文化祭など行事が中止になり、生徒の様子を見に行く機会が減って残念だった。
- ・生徒も落ち着いており、学習にも熱心に取り組んでいる。
- ・先生方には新型コロナウイルス感染対策をしながらの学校運営に感謝している。
- ・今年度は地区内行事のボランティア活動などほとんど中止になってしまった。鬼怒中生徒が毎年積極的に活動してくれているので、来年度実施の際は協力をお願いしたい。
- ・登下校の安全確保のために、道路拡張・自転車の待機場所の拡張・信号機の設置・歩道の整備等、地域協議会として県や市に要望をしており改善されてきている。学校でも自転車の乗り方等、交通安全指導の徹底をお願いしたい。
- ・不登校生徒が多い。学校での対策を明確にしてほしい。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・本校が重点目標としている、学力向上、家庭学習の習慣化に関しては、少しずつであるが成果が現れている。生徒の学習意欲も高まり、授業中の態度も向上し、生徒の呼びかけによる授業3分前着席など生徒の学習に向かう意識が向上している。来年度から完全実施になる新学習指導要領の「主体的で対話的な深い学び」の授業が展開できるよう教職員の研修・研鑽を行い、生徒の学習意欲を更に高め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ることが必要である。
  - ・自己肯定感や自己有用感を高めるために、生徒と教職員のよりよい人間関係を醸成するとともに、学級経営や教育相談活動を充実させ、安全で安心な学校作りを目指し、不登校生徒が減少できるようにする。
  - ・交通事故ゼロに向けて、生徒の自転車マナーの指導の徹底をする。交通安全教室や危険箇所マップ作成などの実施や、自転車運転者としての心のマナーの向上を図る。
  - ・生徒のボランティア活動については、地域コーディネーターを十分に活用し、新型コロナ感染防止対策を行いながら学校と地域の連携と調整を図っていく。
- 「小中一貫教育・地域学校園」に関する項目では、活動状況が見にくいため生徒の評価が低い。生徒の学習面や生活面に反映できる一貫教育の取組を小中で連携し9年間を見据えた指導内容や児童生徒活動を行い、鬼怒地域学校園の目標である
- 「学習や学校行事等を通して、学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成」が実現できるようにしていく。